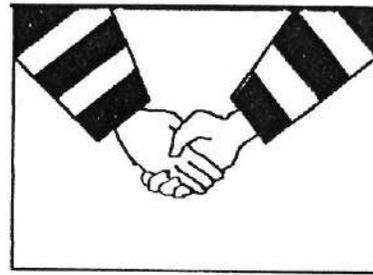


こどものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349

青年たちに囲まれて思うこと

国立特殊教育総合研究所 川住 隆一

こどものへやの研修会

群馬大学に転動した松田さんの後を引き継いで、この四月から月に一度『こどものへや』の皆さんに研究所で会うことになりました。引き継ぐにあたって私にはさほどの迷いはありませんでした。皆さんを小さい頃から知っていたり、あるいはグループで来所して松田さんや長期研修生の先生方と活動している様子をし

れば皆さんはやはり「こども」ではなく「青年」であり、したがってまた、青年に成長した皆さんと私が今後どのようなつきあいをしているのかと考えています。そのためには先ず、皆さんのことを改めて理解していくことが必要で

しょう。皆さん一人ひとりがどのようなことに関心があり、どのような自己主張をする方々なのか、また、日常生活を営む上では、どのような不自由さをもっているのかなどについて知っていかうと思えます。また、研究所に来られるのは月に一度ですので、何か皆さんがもって

らわれる障害の改善を主目的に係わるといふよりは、普段できないような活動を取り上げ、皆さんの楽しい様子を見ながら生活のほりになるようなものを見つけていければと考えています。もしかししたら、親や指導員の方々も知らない皆さんの新たな面を見つけて出せるかもしれません。

が、この原稿を滝川さんから依頼された後で、何故『こどものへや』なのだろうかと疑問に思いました。そこで毎号いただいております機関誌の第一号を読ませていただくと、この名前には子どもの成長を願う親の思いが込められていることと、私と同様の疑問をもつ方々がたくさんおられることを知りました。小さい頃から知っていても、親でない私から

今年度は、気軽に「ちよつと、そこまで」と外出の機会を多くすることを目標にスタートしたので、実行するのがなかなか大変。車椅子で一人が出かけるには、付き添いが二人は必要なので、小回りがきかないのです。散歩のコースを変えて公園で昼食をとったり、海を見に行ったりはしています。

そんな中、梅雨の晴れ間の金曜日、北下浦行政センター内の公民館へ行って来ました。今まで遠いという感じが、意外と近いというのが実感です。エレベーターで二階へ上がり、図書室へ。目的は今まで皆が味わったことの無い、本に囲まれた静かな雰囲気を楽しむためです。でも床はじゅうたんが張ってあり、土足禁止だったので、車椅子での入室は遠慮しました。指導員が、紙芝居

の評判は、どうだったのでしょうか。これが大好評でした。「きつねのおきやくさま」の紙芝居では、話しの中に出てくる『コンコン』や『ウフフ』などの笑い声に、皆も笑いまじりました。「どうようずかん」の中には手遊び歌も、たくさん入っていました。おてらのおしようさん」「あらどこだ」など、大喜びしました。次々に歌い、皆、笑顔いっぱいになりました。その後も返却日まで、何回か楽しみました。



「ちよつと、そこまで」 その①

公民館の図書室へ、本を借りに

電車も人混みも、もう平気!

康雄君と朋美さんが、待ちに待った横浜へ

七月三日(月)、小田康雄君と向山朋美さんが、横浜に行ってきた。JR横須賀駅からのスタート。いつもよりちよっぴりかっこよく決めた康雄君と、キャブテンサンタのTシャツ姿が、とても可愛い朋美さん。二人とも表情がとてもさわやかです。

電車が大好きな康雄君は、乗り込むとすぐ座席に座り、外の景色を眺めては隣の指導員の上野さんに顔を近づけて、言葉をかけてもらって満足気。二人のいい関係は、同行記者がすっかりフォーカスしました。昨年は緊張気味だった朋美さんですが、今回はすっかりリラックス。電車の揺れを楽しみながら、指導員の外川さんと顔を見合わせは、ここにこしていました。

高島屋までの駅階段は障害者用のエスカレーターを利用しました。ウインドーショッピングをしながら早めの昼食をと思い、八階の食堂へ着いてびっくりノ食堂の前は長蛇の列です。協議の結果、お供の一人に席取りをお願いをして、二人はおみやげを買うことにしました。地下街で、虎屋の水ようかんを買って食堂に戻って来た時には、窓側の落ち着けるテーブルにおいしそうなおランチがセッティングされていました。若者向きのポリウムあるメニューで二人ともおいしく食べられました。食後はおもちや売り場へ。康雄

君の一番のお気に入り、各コーナーに置いてある面白い物用の黄色いカードでした。朋美さんは、ミッキーマウスの縫いぐるみの前に行くと、ぐいっとなかんでうれしそうでした。デパートが、あんなに混んでいたのは予定外でした。そんな中でも、二人は落ち着いて行動でき、それなりに良い経験ができました。何度か利用するうちに、すっかり顔なじみ

七月十五日、県障作連主催の研修会「防災対策について」阪神大震災被災地からの報告に参加した。講師は、被災地障害者センターの大賀重太郎さんであった。地震の被害が余りにも大きく、その大変さが体験していない者の想像力をはるかに超えるのか、話し手と聞き手の双方に何となくもどかしさがあつた。テレビや新聞で報道された「やさしさ」と「秩序」の裏にあるものは「競争社会」であり「差別社会」であることを知って、話を聞いて欲しいということであつた。避難・医療・住宅についての障害者への対応対策は、今回の研修で非常にはっきり示されたが、現実問題として、今すぐに私たちができることは少ない。「顔の見える援助」を心がけているという点が残った。先ず「あの人は無事か」

になり、二人に特別の笑顔をふりまいてくれたエレベーターのお姉さん細かいところまで心配りをしてくれた食堂のお姉さん、おばさん、快くご自分から車椅子の介助を進み出してくれた女性、いろいろな人とのふれあいをすることができました。重い車椅子を持ち上げてくれた職員さんと、ホームでの待ち時間、車椅子用

幻のトウモロコシ

愛菜園二回目の収穫日と作物は、「トウモロコシ」とのファックスが

という具体的な顔が浮かび安否の確認をする。災害時一番大切な情報の発信も受信も困難になり、行動できなくなってしまう障害者には、大きな安心感を与えようと思った。現在、全体的な施策は行政に任せ、刻々と変わる援助内容に合わせ、長期的な援助を五十名の方に行っているそうだ。日常生活で助け、助けられて生活しているノウハウが、生かされている感じがした。最後に、出席者の気持ちを代弁するように「何か私たちにできることがあつたら」の質問をされた方がいた。「人・物・金・すべてが必要なんです。できれば半年間滞在し、ボランティアのコーディネートのできる人を五名出してもらえたら」との答えが返ってきた。一番必要なことに、力を貸すことのできない虚しさが会場に広がった。【所長 滝川 郁子】

のエレベーターの問題について話すこともできました。帰りの電車の中で、康雄君は上野さんの肩に寄りかかって、今にも眠りそうにしていました。朋美さんは外川さんの何気ない歌声に合わせて身体をゆっくりと揺らして満足気でした。又、ご一緒させて下さい。【指導員 鈴木 成子】

入る。今度こそ近くに開所している特権として、日課の散歩の途中に寄るぞと、余裕の気持ちでその日を迎える。朝、曇なので出かけようとしていると、雨が降り出した。所員には無理な天候となってしまった。「それでは替わりに行つて来るわ」と、現れたのが三人の母親。立派に実ったトウモロコシが見たい。という皆の期待を背に受けて、今回は大きなビニール袋を手に出かける。本降りになった雨もなんのその、畑へ上がって行く。が、そこには、い

なごの大群が去つた後のように、収穫できる作物は一つ残つてはいなかった。他の作業所のためまいパワに、恐れ入るばかりであった。気の毒に思つたのでしよう、市の職員の方が、遠慮がちに実っているナスとシシトウを取つて下さった。雨に濡れた皆の髪が、トウモロコシの毛のようであった。と、書いてみると、三回目の収穫のお知らせがあつた。作物は枝豆。日付を見ると、デイズニールランドへ行く日だ。あー、参加することもできない。なんだか、愛菜園がだんだん遠くなる!!!

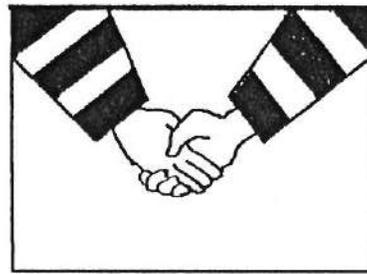
八月行事予定

- 一日・職員会議
- 三日・作業所代表者会議
- 八日・スポーツ教室
- 一四日・二五日 夏休み
- 二五日・二六日 作業所代表者研修

ありがとうございます

- ◇介助ボランティア
 - ・今江恭子様
 - ・山崎和子様
 - ・村田光恵様
 - ・福田香代子様
 - ・新井光枝様
 - ・山本利子様
 - ・谷ゆう子様
 - ・今江恭子様
 - ・岩沢美智子様
 - ・熊本美枝子様
 - ・杉原静子様
 - ・石田妙子様
 - ・垂見和子様
 - ・境母親クラブ有志様・照葉会様
 - ・山口美津枝様
 - ・松本登美子様
 - ・三浦寿美恵様
 - ・最上堯子様
 - ・細野清美様
 - ・有賀はる子様
- ◇寄付
 - ・鍛冶和男様
 - ・角井輝行様
 - ・本多淳子様
 - ・安田昌夫様
 - ・薄井洋子様
 - ・中神祐理子様
 - ・森田洋子様
 - ・青木フミ子様
 - ・村上様
 - ・下鳥幹子様
 - ・山口宏美様
 - ・桑原絢子様
 - ・鈴木智恵子様
 - ・森田明美様
 - ・矢部宮子様
 - ・旭製作所様
 - ・小栗様
 - ・豊増様

こどものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349

こどものへやの 夏

もう見た？ もう乗った？

誰だつて百パーセント楽しめる、デイズニールランド

四つのグループに分かれて

「どこだつて夏なんだから！」と、永ちゃんがおつしやる昨今（CM中止になった）暑い中、今年も七月二十八日、またまたデイズニールランドへ行きました。幸運にもゲート付近で、ミッキーや陽気なグーフィー等、キャラクターの歓迎を受けたい先良いスタートです。必見は何と言つても新しいパレード「デイズニールファンテューリョーション！」です。①光のガード②悪魔の出現③幸福の舞踏会と三つの大きなテーマに分けられているとの事。前回に負けず劣らずの内容とか。ポランティアの今江さんも今年は参加して下さい、所員はグループに分かれて行動します。どんな感動やアドベンチャーを体験したのでしょうか。

指導員 前田 邦子

① 康雄君「グーフィー」が大のお気に入り

大のお気に入り

「あつ康雄君、ミニーちゃんだ」「グーフィーもいるよ」「行つて見よう」、耳が大きく長いグーフィーの前に、人混みをかき分け進むと、グーフィーが歓迎の握手の手を康雄君に差し出してくれました。康雄君は黄色いグーフィーの黒い鼻に目がいったのか、鼻が気になったのか、右手がすつと鼻に伸びたと思つた時思いきり鼻を掴んでしまい、しばらく離そうとせず。「イタイ、イタイ」とふざけるグーフィーのしぐさに、思わず笑いを誘われました。乗り物好きな康雄君、さっそくアトラクション目指し出発です。「カプリの海賊」では、暗くて細い通路をキャストの照らしてくれる明かり

リルと暗い所が好きな康雄君でした。いくつかのアトラクションを楽しみ、光と幻想のファンテューリョーションを見て、夢と魔法の王国を十分に堪能する事ができました。

指導員 上野 幸子

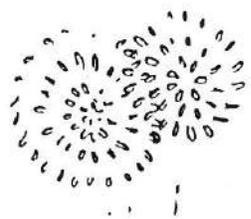
② 真一君

何事も余裕を持って

今回、真一君は早め早めの行動をモットーに見てまわりました。

出てくるゾウやカバに手を握りしめて見つけたジャングルクルーズ。可愛らしいお人形に見とれてしまったイツツ・ア・スモールワールド。ホーンテッドマンシヨンは去年も見てよく知っているの、そんなに怖くはありませんでしたが、お母さんはもう来年は入らないと言つて。夕食はスモールワールドレストランで誰よりも早く済ませたので、ファンテューリョーションの見物席も一番前をとることができました。頭

指導員 中田 光子



三人がけの椅子に座つて、薄暗い幽霊の館の中を進んでいくのですが、回転する椅子の動きや風の動き・奇妙な音や声まで、慎吾君はすっかり

③ 慎吾君

ホーンテッドなんか怖くない

気に入っていました。両隣のおぼさんの「ウワー！」という声も、まるで無視。「アー慎吾君おもしろかったネー」と出口に向かって車椅子を

横のドアから黒い洋服のキャストのお姉さんが出てきたのです。お母さん、お姉さんの腕をたたいて「ヤダー」。どっちが「ヤダー」なのでしょう！

指導員 相川 英里子

「こどものへや」のスポーツ教室に ボランティアとしての生きがい

—— ボランティア 村田光恵 ——

「ボランティア」の言葉を意識したのは、PTA活動で『福祉について』のミニ講演会を聞いた時からです。

その時期に、委員会の皆さんと浅草へ行った折、若い男性と女性が、ハンディのある子どもさん達の面倒を、一生懸命に見てあげている姿を目にして「えらいなー」と感じました。

「きつとあの人達ボランティアよね」と口々に言い、さわやかな光景を見て帰って来たことを思い出しました。

した。

「ボランティア」の内容もいろいろあると思います。私はちよつとしたきつかけで『こどものへや』のスポーツ教室のお手伝いをしています。私の場合は「ボランティア」と

(一面より続く)

④ 充スマイルで

デイズニーを堪能

最初に買った「カリブの海賊」で滝を落ちる時、充君は隣の指導員に

八月七日、月曜日、今日も朝から暑い暑い。幹大君も朋美さんもお休みで、慎吾君も康雄君もちよつと淋しそう。どこか涼しい所で「お茶しようか」と話がトント

② うも
まきし
とで
そひ
との
つ前
よ昼
ちお

嬉しのか初めてとは思えないほどゆつたりとしている。康雄君は冷たいフローズンヨーグルトを口で温めるように、口当たりを楽しんでいる。慎吾君は好物のプリンアラモードを、口を大きく開けて味わっている。

三浦海岸沿いにある「不二家」に入る。康雄君はしっかりと自分で歩き、テーブルに着く。広々とした椅子にリラックスして、横になったり周りを観察したりして、メニューもちゃんと手にしている。慎吾君は涼しいのが何より

二人の青年はにこにこ満足そうな顔をしていた。

指導員 前田邦子

言うより、一緒に楽しませてもらい遊んで来てしまっているように感じています。

職員さんの行き届いたお世話にはいつも見習わなければと思つて居ります。そんな中、少しずつ所員さんとも仲良くなつて来たかなーと、うれしくなつてきました。

社会全体が、ちよつとした思いやりと「ボランティア」の気持ちで過ごせば、嫌なことが少しでも起こらないで済むのではないかと感じます

しがみつき、その後苦笑い。「ジャングルクルーズ」では、登場する動物には目もくれず、もつぱら川の水に興味を示し、すきあらば飛び込もうという様子でした。「ウエストンリバー鉄道」と「蒸気船マークトウエイン号」では、大好きな風を楽しみました。夕食はだいぶ待たされてやや(かなり?)ご機嫌斜め...で

もスペシャルディナーを食べ始めるといつもの充スマイルが出て、きらきらと点滅するイルミネーションを見ながらの満足な一時でした。

パレード見物の後は、「ピーターパン空の旅」へ...と思つたのですが動いたままの乗り物に乗らなければならぬことがわかり、断念。それでは...とトライした「白雪姫と七人の小人」で、充君は再び隣の同行者にしがみつく羽目になりました。一番喜んだのは、「イツァスモールワールド」でした。世界中の子ども達の大合唱に合わせて身体全体でリズムを取り、本当にうれしそうでした。

最後は待ち合わせ場所までスリル満点の「車椅子暴走族!」。滑り込み、セーフ!でした。

指導員 鈴木成子

研 修 報 告

① 「人を雇うにあたって」

八月二十五日、二十六日にかけて、作業所の責任者研修に参加した。社会保険労務士の大沢知子氏による労基法と保険関係についての講演があった。「こどもたちのために」という母親の立場が発端点である私には、人を雇用しているという意識に欠けている面が多々ある。基本的なことを整理した形でお聞きでき、とても勉強になった。

その②「横須賀で、重症心身障害者の通所施設をつくるには」

九月行事予定

- 一、二日・宿泊訓練
- 五日・職員会議
- 六日・運動会実行委員会
- 八、九日・宿泊訓練
- 九日・おやこ劇場
- 十二日・スポーツ教室
- 十四、十八日
- ・障害児者作品写真展
- 二七日・山鳩出店、特総研
- 二九、三十日・宿泊訓練
- 三十日・SKY研修会

◎ ありがとうございます

◇ 介助ボランティア

- ・山崎和子様
- ・今江恭子様
- ・福田香代子様
- ・村田光恵様
- ・成枝直美様
- ・大沢央子様

◇ 作業ボランティア

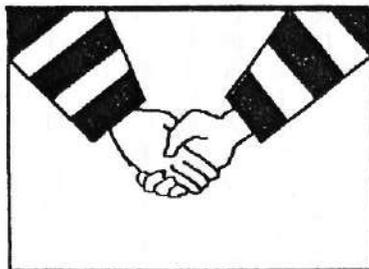
- ・石田妙子様
- ・山崎和子様
- ・岩沢美智子様
- ・松本登美子様
- ・熊本美枝子様
- ・三浦寿美恵様
- ・今江恭子様
- ・最上亮子様
- ・山口美津枝様
- ・細野清美様
- ・杉原静子様
- ・垂見和子様
- ・境母親クラブ有志様

◇ 寄付

- ・中村俊子様
- ・谷 ゆう子様
- ・山口宏美様
- ・橘 久美子様
- ・郷 様
- ・森田 様

こどものへや

発行責任者 滝川 郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



楽しく、ゆったり、伸びやかに！

チャレンジ 大好きな所員たち

宿泊練習 パート①

初体験の昨年はドキドキハラハラ緊張しましたが、今年は負うことなく、日常生活の発表の場が宿泊練習ではないかと思っております。

九月二日(金)と三日(土)にかけ、向山朋美さん・滝川充君と指導員三名が参加しました。朋美さんは宿泊を楽しみにしていたそうです。ニコニコ顔で早

に到着。充君はいつもと少し違ふよ！でも朋美さんの姿にほっとした顔。宿泊練習の始まりです。お母さんから菓の飲み方、夜間の様子や注意することなどを伺う。

前回は手作りの夕食でしたが、外食もやってみよう。レストランで優雅な夕食に舌鼓です。マナーは最高、静かにゆったりとお話をしながら食事ができました。帰路はすっかり暮れた海を見ながら、心地よい潮風に満足する。

夏の夜は花火。ドラゴン・ナイヤガラなど光と音の競演に、充君は目を輝かし、緑側に出て花火を持ちうれしそうな顔、朋美さんは体を大きく揺する。でも音が出ると少し驚くがすぐ笑顔に戻り、花火を心から楽しんでる表情です。驚くとすぐには興奮が戻らなかつたのですが、すっかり落ち着くことが多くなりました。

就寝前に揃って上手に菓を飲む。部屋いっぱいに敷き詰めた布団に、雰囲気が変わったので少し戸惑い気

味の二人です。又、楽しい事が始まるのではと期待している反面もある顔。布団が敷かれるとすぐ寝た昨年と違い、眠くなるまでトランプ遊び(ポーカー)をしました。充君は横になって足の指を立てた数、朋美さんは頭を振った数で、ゲームに参加。大きなあくびが出ました。目もトロンとしてきたので遊びは終了。

昨年の宿泊練習に参加しなかった私は、初めての事にさて何を持参すべきかと前日に用意した布団を丸めタオルケットとその他モロモロの物を詰め込み、まるで夜逃げするかのような格好で、家を後にしました。

「こどものへや」に着くと、今日ばかりは二人共、ちょっと早めに着いていて、この日を楽しみにしていたお母さん達の意気込みをヒシヒシと感じました。しばらくその日の様子等を聞き、六時には夕食を食べにレストランへと向かいました。前の週の人達にならぬ、津久井浜のデニスへ行くこうと思っていたのですが二人が食べやすいメニューが見あたらないので、すぐ隣の不二屋に行くことにしました。

店内に入ると、天井いっばいに光り輝く、無数のイルミネーションがとともきれいで、二人はあちらこちらを興味深そうに見ていました。しばらくすると「お誕生日の歌」が響きわたり、「○○ちゃん、お誕生日おめでとう」。そして店内にいる

最後はトイレに行き、さっぱりしてからお休みの合図で十一時十分消灯。九月に入って涼しくはなりましたが、まだ寝苦しい夜です。朋美さんはアトビーの為、かゆいとひつかいてしまうので、うちわであおぐ。充君は落ち着かず、体をもてあましている様子。常夜灯や周りにも気が散って、なかなか寝つけないまま五時二十五分朝を迎える。早いけれど散歩に出かけ、きらめく朝の海を見て眠気も取れてさっぱりした様です。朝食は大好きなサンドイッチ、手

分けをして準備に入る。朋美さんは台所からの音や匂いに、早く食べたいと待っています。充君は朝の散歩が気に入ったので、又、出かけた。朝食はデザート付きで美味しく食べました。お迎えの時間までゆつくりとCD鑑賞です。楽しかった宿泊も無事終わりました。今回は時間の流れがゆったりとした割には、内容が充実していたのでは。所員と指導員との信頼関係もいっそう深まったようです。

指導員 岸 照子

宿泊練習 パート②

いっしょに寝ようぜ！

第二回目は、9月8日、9日に実施

人達が皆パチパチと手をたたき、その子のお誕生日を祝ってくれていました。偽物のケーキにロウソクを立て、火を消すところのポラロイド写真も取ってくれていました。なんとも楽しげなその雰囲気を感じよう。と、ちょうど九月生まれの福谷君をその日に生まれたことにして「ウソついてごめんさい」、一連のセレモニーをしてもらいました。もちろん

「こどものへや」に帰るともう九時でした。二度目の宿泊とはいえず、少々興奮していることと思ひ、早めに寝る支度を整え、布団の上でゴロゴロしているととうとう十一時。福谷君がトイレを済ますのを待っていると、既に十二時になってしまいました。それからあつち向きこつち向きしながらも、しばらくするとやつと眠りにつきました。

ん店中のお客さん皆が、おめでとうの拍手してくれました。その後も何回か、♪ハッピーバースデイトウユウ♪と聞こえる度に、鈴木君はニコニコと笑みを浮かべていました。大好物のピーフカレーとシーフードドリア、そしてハンバーグステーキを二人共おいしく食べることができ、帰りには記念のポラロイド写真ももらいおみやげのケーキも買いました。

時計が四時をさした頃、起床ラッパならぬ福谷君のすごい声にたたき起こされ、それから起きあがりたり横にしたり連続で、六時起床となりました。鈴木君は一晚中ほぼ起きていた様ですが、四時四十五分に突然大きな声を出し始めたので、体を動かしたり背中をさすったり、たいたり手と手を替え品を替えたりしていてもう少し眠りたい私達でした。睡眠不足の割に二人の若者は食欲旺盛で、しっかりと朝食を食べました。そして十時にはお迎えのお母さんに連れられ、帰って行きました。

指導員 榎本 智子

仲間

福田 香代子

ボランテアの経験など無い私にもお声がかかり、七月から音楽教室に、おじやまさせていただいています。

お話を聞いて一番の不安は、自分が「障害者」にどう接したら良いのかということよりも、彼らが私にどう接してくるのかという事でした。彼らには感情表現はもとより、感情そのものがあるのだろうかという疑問があったのです。しかし、一緒に歌ったり踊ったりするうちに、「なんだ、普通の人なんだ」とホッと、肩の力が抜けてしまいました。確かに不自由な点が多いかもしれないけれど、何かを感じ、それを伝えようとする姿は、私達と同じなんだと感じてからは、お手伝いするといふより、新しい友達と楽しく時間を過ごさせていただいています。

個性的な六人を見守る指導員の方々の、やさしい眼差しときびきびした介護には、いつも感心させられました。家庭を守り、忙しい生活の中で気負うことなく自然体で活動なさっていらつしやる皆様の姿に、ボランテアの何たるかを私に教えていただいた気がします。

私がそうだったように、多くの人は障害があるが無かるうが、同じ仲間なんだという当たり前のことに気がついていないのではないのでしょうか。健康な人もそうでない人も、

お互いに違和感なく受け入れられる空間が、もつともつと広がればと思います。そして、私の一番の驚きはお母様方の明るさと、何と言ってもそのパワーです。ついつい目先のことに気をとられ、欲ばかり出てしまひ、子供が自分の思うようにならないのがゆきと、いらいらする毎日の私にとって、お母様方がとても大きく感じられました。母として、一人の人間として成長できるように、学ば

今や、国際的ブームになっているカラオケに、未だに一度も行ったことのないという所員や指導員の面々を誘い、突然ですが今日(二十二日金曜日)カラオケスタジオに行くことになりました。

朝の会でも、「今日は散歩の途中にカラオケに行く」とを伝えていたので、ちょっと薄暗い室内に入っても不安を見せず、大好きな歌が流れビデオの画面が動き出すと、思い思いに体でリズムをとる声を出していました。中でもいつも下向きかげんに車椅子に座っていることの多い小田君が、「きつ」と正面のビデオを見て、ニコニコと手を振り、頭を振り足までリズムを取って楽しんでいる姿は、私達の想像をはるかに越える

せていただくことが、たくさんあるように思います。そして、少しでも皆様のお役に立てるようになりたい

お風呂大好き!

巡回入浴サービス

移動入浴車による、月三回の入浴サービスのことは知っていましたが、でも皆、家族の負担はどうなのか、家の建っている場所や構造が関係するのかわかりにくくしてしまっていました。朋美さんが二ヶ月程前から利用しているのので、お母様にお話を伺いました。一、浴槽を部屋に入れるがスムーズに行く。二、三、四名の方(男性一名、女性二、三名

と思っています。仲間にに入れていただいたことに感謝します。

うち一名は看護婦)がケアして下さる。三、入浴前後に血圧測定と検温。四、都合の良い曜日を選べる。五、着替えは家族がする。以上がわかりました。ちよつと使用量の増えるタオル類は、洗濯機と青空にお任せして。次に何をやるのか等、声かけを良くして下さり、朋美さんも安心して、リラククスして入浴しているそうです。ケアして下さるメンバーは替わるそうですが、引き継ぎが良くできていて、家族があらためて説明する必要がなく、信頼感を持てるそうです。今、所員達は家族のケアで入浴しています。しかし入浴サービスが主な入浴手段となった時、回数を増やすと一回一万五千円と聞いた時には、入浴もままならなくなるのだと考え込んでしまいました。

所長 滝川 郁子

第三回 運営委員会を開催

九月二十一日(木)、総合福祉会館で運営委員会を開きました。もう少し早い時期に行いたかったのですが、委員の皆様が多忙のため、この日になりました。十人出席、平成六年度活動報告会計報告、会計監査報告、賛助会費の報告、平成七年度事業計画、予算案を審議し、承認されました。当日出た意見を参考に少しでもより良い日常活動ができるように、努力していきたいと思ひます。

十月行事予定

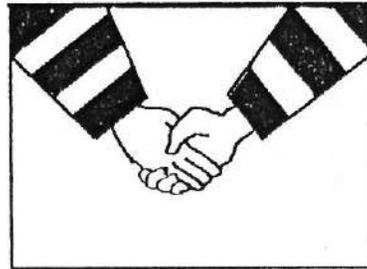
- 三日・職員会議
- 六日・共同募金
- 八日・誰もが使える交通機関を求め神奈川行動
- 十二日・あじさい交流会 (観音崎)
- 十九日・代表者会議
- 二十日・こども科学館見学 (スポーツ教室レク)
- 二十四日・スポーツ教室
- 二十八日・追浜公民館バザー 運動会準備
- 二十九日・市肢体不自由児者運動会
- 三十日・代休

ありがとうございます

- ◇介助ボランテア・滝川 恒
- ・川原和輝子様・今江恭子様
- ・福田香代子様・沢田文子様
- ・成枝直美様・中田智子様
- (音楽教室)
- ・大野静枝様・大沢央子様
- ・新井光枝様・山本利子様
- (給食)
- ・宮前浩子様・浅野和子様
- ◇作業ボランテア・今江恭子様
- ・石田妙子様・山崎和子様
- ・熊本美枝子様・三浦寿美恵様
- ・松本登美子様・最上菟子様
- ・山口美津枝様・細野清美様
- ・杉原静子様・垂見和子様
- ◇寄付・横須賀中央教会様
- ・山田ヒロ子様・橘 久美子様
- ・川崎伸江様・勝又秀夫様
- ・山口宏美様・川原和輝子様

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



長々し夜を楽しんで

九月二十九日～九月三十日

康雄君・真一君と

パート③ 練習泊宿

九月末というのに、昼間はまだ夏の名残がある。日も暮れかけた頃、ひたひたと迫ってくる秋風を感じながら、夕食のため『デニーズ』へと向かった。さあ楽しいハッピーな夜にしようね。真一君はすぐにきのこソースのハンバーグ・コーンスープ、それに季節のふくらまほほか栗ごはんをつけて決まる。康雄君はメニューを何回もめくって、あれも食べたいしこれも食べたいし、迷うのもまた楽しそう。ヒレカツ和風ランチ・栗ごはんにお味噌汁に決めた。早い早い！美味しそうに二人とも、気持ちがいいぐらいにきれいにいただきました。三人の指導員は家事の無い幸せを感じながら、話の輪もあれこれ広がり、のんびりと語らいながらのディナーでした。

隣の席の「デニス」風の男女高校生グループに、ちよっぴりすまして若者の仲間のような真一君、お客さんと一緒になって楽しんでいる康雄君、まわりの雰囲気がとてもいい感じでした。デザートをいただいてリッチな時間を後に、「こどものへや」に帰って来ました。

長い秋の夜の始めに、ライオンキングのビデオを三十分位鑑賞、英語の勉強もしました。また布団の上で、昔々の笑い話（芋ころがし）を読みました。面白い話をちゃんと最後まで聞いて、康雄君はスーと起き

上がりまるで夜の『こどものへや』を探検するかのよう、あちこち歩いて楽しんでます。真一君はびつくりする程早く寝付きましたが、すぐに起きてしまいましたので、皆で知っている日本の子守歌の数々を美声でささやきましたが、秋の夜には日本の歌は悲しくて寂しすぎます。しまいに、シューベルトやブラームスの子守歌まで飛び出して。康雄君は引き出しや電気のスイッチで

今年も体育振興会よりご案内をいただき、健民運動会に参加させていただきました。秋晴れの十月十五日（日）に北下浦中学校に、所員三名が母親と共に集合。校庭には各町内会毎にテントが張られていたが、三回目の参加なので、顔見知りの方もお見かけし、気分がゆとりが持てたので、『こどものへや』のある境町内会の力目に入った。

防災競技・二人三脚など、頑張る紫色のはち巻きを手伝ったが、「すごく強かった」と言えないのがちよつと残念。紫色のスカートをばきボンポンを手に応援する小学生たちの姿は、とても可愛かった。

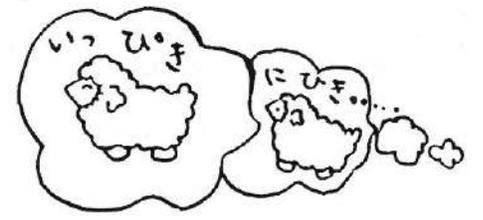
所員たちは、『紅白玉入れ』に出た。係の方が紅白両方の玉を、車輪

遊ぶ方が楽しそう。真一君は、昼寝を三時間したので眠くないよう。と、布団の上を数え切れない程ぐるぐる回りました。ヨシノ今度は「怪談」じゃない「階段」の話、階段が二つ、羊が四匹、羊が二匹、三匹……おまじないも効果なし。こうなったら二人にどことんつき合いますようと、修学旅行のノリで楽しんでしまいました。

「階段」の話、階段が二つ、羊が四匹、羊が二匹、三匹……おまじないも効果なし。こうなったら二人にどことんつき合いますようと、修学旅行のノリで楽しんでしまいました。

子に座った膝に乗せて下さったのを幸いに、先ず白のかご、次に赤のかごに投げた。どちらにしても、「勝ち」になれるという作戦だった。午前の部の最後に、第十九分団による消防操法の演技があった。よく訓練された、キビキビした動きに感動した。阪神大震災があった今年は特に関心を持って、見せていただきたい。緊急時、地域た。緊急時、地域のことをよく知っている消防団があることは、住民にとって心強いことだと思っ

秋の強い陽差しの中、所員たちに疲れがみられたので、昼食前に失礼した。温かい雰囲気ですてて下さったことに感謝しながら……



午前四時頃、とうとう二人とも疲れて眠りました。「お休みなさい」朝がしらしらと明け、朝食が終わる頃、大好きなお母さんの迎えが待っているヨ。私達も細切れに睡眠をとるこつが、上手になった気がします。

今年初めて、指導員と宿泊をした康雄君が、真一君と一緒に楽しそうに過ごす事ができた様子だったので安心しました。「五人でどうぞ秋の夜長をお楽しみ下さい」との昼間の指導員さんからの熱いメッセージどおり、長々し夜をたつぷり楽しんでしまった宿泊練習でした。

指導員 前田 邦子

食欲の秋 「おいもだよー」

十七日（火）は、『さつまいも掘り』に行きました。三崎口駅のすぐ近くの畑です。持ち主の長谷川様のご好意で、準備万端整っていて、車椅子で畑の近くまで行きました。初めてのおいも掘りで、他の作業所の方々の掘る様子を遠くでながめていたのですが、土から顔を出すおいもに、夢中になっていて姿を見ても気がなりました。土の付いたおいもを手にとると、大地の豊かなぬくもりが伝わってくるのでした。また「いもづる式」の言葉を実感したひとときでもありました。

午後は作業所へ帰り、早速ふかしていただきました。ほんのりと甘いなつかしい味でした。おみやげに頂いた沢山のおいもは、各家庭ではどんなお料理になったのでしょうか？

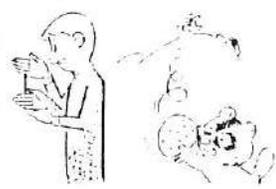
所長 滝川 郁子

みんなで作ろう

『あじさい指の会』の交流会に参加

十月十二日、『あじさい指の会』と五つの作業所との二度目の交流会が、昨年と同じ観音崎青少年の村で開かれました。小雨まじりの天候でしたが、所員五人元気に集まりました。ボランティアの村田さん、

左手甲に歯角にのせ
た右手を上にあげる



研修にいらしていた秋葉さう
んもいっしょ
です。赤・緑と
黄色の三グ
ループに分か
がれ「あじさい
指の会」のり
ーダーを中心
に名前の手話あ
表現を教えて
いただき、自己紹介をしました。手
話を覚えるのに夢中になり、自己紹
介をする時間がなくなったグループ
もありました。

和やかになったところで、食事作
りです。今回のテーマは「みんな
で作ろう」です。他の作業所の方達は
レタスを洗いちぎり、ドックパンに
レタスとウインナーやマヨネーズで
あえたゆで玉子をはさんだり、大活
躍です。さあ『こどものへや』の所
員は、果たして何が出来るか不安で
した。が、朋美さん・真一君は、豚
汁用の野菜の皮むきや、包丁を使っ
て大根・にんじんを切りました。一
方、康雄君・慎吾君・充君のグルー

プは、ホールの片隅でゆで玉子をテ
ーブルにぶつけて割り、殻をむき、
また大きな房のパナナを一本づつ分
けました。そしてマヨネーズであえ
た玉子の味見（つまみぐい!!）のお

十月二十日（金）、スポーツ教室
の仲間達と『横浜こども科学館』へ
行ってきました。

ともしび号（リフト付きバス）の
乗車も手際良く、もったいぶったお
弁当の到着を待って、予定時刻の九
時に出発しました。横横道路も渋滞
もなく、あちこちに群生した

嫌われものの、せいたかあわ
だち草が、秋の陽を浴びて光
っていました。バスの中は、
『やすらぎ作業所』の杉本保
夫さんの一人漫才で、和やか
なムード。あつという間に科
学館に着きました。

中でも楽しかったのはエレ
ベーター！『こどものへや』
の皆が、車椅子で一度に乘る
事ができる広さで、中には星
座が描かれたドアが閉まると「宇宙
旅行に出発！」といった風でした。

地下二階から地上五階まで、宇宙
でいっぱいです。小田君は、空間移
動ユニットに乗ってレバーを動かし
宇宙空間での移動訓練を楽しみまし
た。中野君はUFOの上を、手足を

手伝いもしました。食欲はと言いま
すと、ペロリと全部たいらげた人、
豚汁を三杯もお替わりして、周りの
人を驚かせた人、等々。ささやか
なお手伝いでしたが、自分達で作っ
た食事を、おいしそうにいただいで

「気分はシェフ」いくらでも手が出てしまおう、美味しい『ニヨッキ』

浅野先生の
食欲の秋到来です。イタリアのパ
スタ料理『ニヨッキ』を浅野先生が

バタバタさせながら滑り、朋美さん
は大きなレンズの向こうから、巨大
な笑顔をふりまきました。職員も、
散歩で鍛えた脚力を測定したり、敏
捷性をテストしたりして余計な汗を
かいてきました。

そして今回、ブラネタリウ人を見
た事が、一つの大きな経験でし
た。大きなドームに、当日の夜
空が映し出されると、館内は真
つ暗。静かに説明が流れると、
初めての経験について声が出てし
まう人もいます。でも不安を感
じているといった様子はありま
せんでした。ーが、やはり声
を出すのは他の人への迷惑と、
退席を促され、緊張が走りまし
た。経験する事の大切さと、他
の人への迷惑。介助する者と

い学
ろ見
し館
も学
お科
も
てど
っこ
学浜
科横

しては、他の人への迷惑ばかりを考
えて、行動が狭められてしまう事が
ないようにしたいと思うのですが、
何はともあれ、疲れるけれど、や
っぱり外出は楽しいものです。

指導員 相川英里子

おりました。『あじさい指の会』の
方達の手話指導や、心温かなユーモ
アあふれるお話に皆大笑い、又趣向
を凝らしたゲームに時を忘れ、楽し
ませていただきました。

指導員 一重清子

パン教室から

作って下さいまし
た。ジャガイモの
白い生地とホーレ
ン草のきれいな緑
の生地二色を、所
員は切ったり、フ
ォークで型をつける手伝いをしまし
た。あまりグリーンの色が美しいの
で、つまみ食いしたくなる程です。
いろいろなデザインが出来上がり、
皆センスがいいね！小麦粉を顔につ
けている人（証拠はカメラでカシャ
ッ）もいて達人ぶりを発揮、皆がシ
ェフになった気分でした。皆がシ
ェフになる人、で何もしなかったの誰
かなあー。



「ニヨッキ」はピザソースにバジ
リコの香がふわっと広がり、なめら
かで若者向きの味です。それにスー
プのクリームチャウダーは、アサリと
生クリームがマッチして、口当たり
と風味がいいので、『ニヨッキ』と
同じくらい好評でした。先生が腕に
よりをかけて作って下さり、本場の
味を居ながらにして美味しくいただ
き、幸せな気分でした。味といい、
彩りといい、存分に楽しみました。
毎回お洒落な料理ありがとうございます
ます。次回も楽しみに待っています

指導員 前田邦子

十一月行事予定

三日・生協まつり
四日～五日
ふれあいセンセイション

七日・職員会議

十三日～十七日

・実習生来所

十四日・スポーツ教室

十五日・特総研

十七日・ふれあい交流会

◎ ありがとうございます

◇ 介助ボランティア

- 川原和輝子様
- 今江恭子様
- 福田香代子様
- 沢田文子様
- 成枝直美様
- 村田光恵様
- 山崎和子様
- 山本利子様
- 大沢央子様
- 新井光枝様
- 浅野和子様
- 宮前浩子様
- 谷 ゆう子様

◇ 作業ボランティア

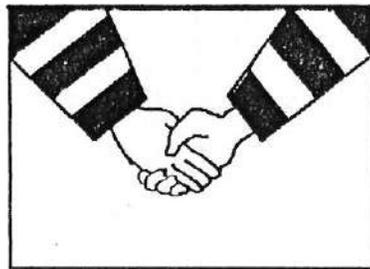
- 石田妙子様
- 山崎和子様
- 熊本美枝子様
- 三浦寿美恵様
- 松本登美子様
- 最上堯子様
- 山口美津枝様
- 細野清美様
- 今江恭子様
- 堀田園子様
- 杉原静子様
- 垂見和子様
- 境母親クラブ有志様
- 照葉会様

◇ 寄付

- 安田昌男様
- 小栗英子様
- 青木美佐子様
- 堀江君代様
- 吉田慶子様
- 勝又秀夫様
- 山口由美子様
- 山口恵美様
- 三田村由香様
- 駿河銀行様

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



楽しみながら、考えよう！

十一月四〜五日 ショッピングプラザ横須賀・市総合福祉会館

Sensation 95

今年から始まったこの啓発活動の趣旨は「障害のある人もお年寄りも子ども達も、そして全ての人々が手をつなぎ、心豊かに生き生きと安心して暮らせる街、一人ひとりがやさしくなれる街づくりを三浦半島から神奈川県に、日本に、そして二十一世紀に向けて発信します」というものだ。「こどものへや」はおまつり広場の作業所製品販売に参加した。休憩時間に私にとつてはテーマが大きすぎると思いつながら、展示等を見て回る。

その中で一番印象が強かったのは、たけのこ会のメンバーの方の家庭での入浴の連続写真である。

「ここまでできるなんてすごい」の一言である。でも彼はきつと「今、流行のヌード写真を撮っただけ」とニツコリ答えるだろう、もつと軽やかに考えましよう。介助している方のショートパンツから出ている遅い(?)足は、六十五歳になられるお母様と女性のボランティアの方のものとお聞きし、二度目のショットを受ける。そこには障害者が家庭で暮らす楽しさと大変さと、ちよつびりのペースとたつぷりの愛情があつた。湯気の中の顔は、この写真からのメツセージを皆さんどう受けとめてくれますかと、問いかけている。こんな素敵な写真は、多くの方に見て欲しいと思う。

その他の展示等はゆつくり見る事ができなかったが、コンサート・フアッションショー・施設見学等、楽しそうなイベントが多くあつた。

所長 滝川郁子

ハツラツ女子高校生と市肢体不自由児者運動会に参加

十月二十九日(日)、坂本地区自治活動センターで行われ、「こどものへや」からも所員が六人参加。

今回はボランティアの女子高校生(湘南女子高等学校)が、一日「こどものへや」をお手伝いして下さるとの事、さつそく所員を紹介し、名前を覚えてもらいました。「何年生?」「一年です」「障害者と接する

のは初めて?」「ええ」「車椅子を押した事は?」「初めてです」明るくハキハキ答える彼女達に、競技が始まる迄、車椅子の動かし方、ストッパーのかけ方等を教え、実際に動かしてもらいました。周りに注意をしながら車椅子を動かしている彼女達を、心配そうに見つめている指導員の目。

自然体な彼女達は、所員と以前から顔見知りだったかの様に、ごく普通に、構えることなく、話しかけ楽しそうな雰囲気。ふだんはなかなか若者達と接する機会が少ない所員いつも四十代・五十代のオバサンの顔を見、声を聞いている所員、ハツラツとしている女子高校生の方が、いいにきまっていますよネ。

「こどものへや」も三回目の参加なので、競技の流れも分かり、十分楽しむ事が出来ました。頭の上や、目の前を、玉入れの玉が飛び交い、びつくりしていた所員。一目散にパンを指して、大きな口でパンにか

ぶりついていた指導員。顔を粉で白くして大福を口に、車椅子に乗って頑張るボランティアの皆さん、力強い腕立て伏せをしてくれた先生、魚を釣って賞品を頂いたり、「アブラハム」に振りが付いていたのを初めて知つたりと、盛り沢山でした。懐かしい養護学校の先生が「元氣そうね」「皆大人の顔になつたね」と歩み寄って声をかけて下さり、思わず所員もニツコリ。勿論運動会は楽しかったけど、女子高校生には車椅子を押してもらい、先生に会えるし、とても楽しい運動会でした。

大勢の男子・女子高校生がボランティアとして参加してくれた事は、嬉しい事です。若い人が一人でも多く障害者を理解し、接してくれたらこれから先が頼もしい限りです。女子高校生の「楽しかった、又来年も来るからね」の言葉に、ホツとしました。

指導員 上野 幸子

の皆さんは、とても充実した日々を過ごせてうらやましいです。

以下は、長谷川大輔君のお母さんからの感想です。

大輔君と共に 実習に参加して 武山養護学校教諭 新矢正夫

一週間の実習生活、楽しく過ごせたようです。食事の時などいろいろお世話になりました。ありがたうございました。毎日元気で通うことが出来、食事もよく食べていたようです。安心してました。もう一日か二日も良かったかと思えます。

大勢の中で 楽しく

ふれあい交流会に参加して

十一月十七日(金)、総合福祉会館で開かれた毎年一回の「ふれあい交流会」に参加しました。今回は、実習生の長谷川大輔君と新矢先生も一緒です。

大勢の熱気に溢れたホールで、一年ぶりで会う人達もあり、充君はさつそく皆の間を歩いてまわり、握手をしたり、声をかけてもらったり、とても嬉しそうでした。

午前中は、レク係の人達で考えて下さった四つのゲームをしました。最初のジャンケンゲームでは、ついていない皆はすぐに負けてしまいました。次のゴロゴロドカンが始まる頃、真一君は暖かくて気持ち良くなつて眠ってしまいました。このゲームで皆は、まわしてもまわしてもボールがまわつてきて、大忙しでした。ドッチボールの後の〇×ゲームでは、康雄君が頑張り、かなりのところまで残ることができました。

昼食は、朝早くから用意して下さった、心づくしのドッグパンと豚汁でした。豚汁はやわらかく煮てあり和室でゆつたりと、全員おいしくいただきました。

午後は、作業所紹介の後、数あつまりをし、絵合わせゲームをしました。絵合わせゲームでは、知らない絵もあり、皆が苦労して探している中、『わたぼうし』の人と組んだ朋美さんは、さつと集めることができグループでは一位でした。最後のデ

イスコタイムでは、皆、のりにのりしました。大輔君は、先生のリードで足を動かし、半袖姿の慎吾君は立ち

心に響く 歌声

レーナ・マリア コンサート

十一月六日、スウェーデンのソプラノ歌手 レーナ・マリアさんのコンサートを聴きに、横須賀芸術劇場に行つてきました。会場はとても混雑していましたが、四人の所員は、(二名欠席) ボランティアの方達の案内で、とても見やすい席に車椅子のまま着くことができました。

気楽に楽しんでみよう、『横須賀ジョイシネマ』に康雄君と真一君が先ず行つてみました。

突然暗い館内に入り、大きな音や光と大スクリーンの映像に少々びっくりしました。やがて暗さに慣れた真一君は静かに見ている。康雄君は低い声を出し、時々顔を上げて映画を見ているが、楽しんではいない。

他の観客に迷惑をかけてはいけないと思ひ、『コンゴ』の迫力ある映像を、わずか十五分出てしまった。

上がり、支えながらステップを踏み真一君は、待つてましたとばかりに全身でリズムをとり、皆おもしろい踊りました。よく準備されたプログラムで、全員、大勢の中でも落ち着いて楽しく過ごすことができました。

指導員 中田光子

まもなく開演。ノーマライゼーションの進んだスウェーデンで、障害を意識せず、生き生きと生活し、活動してきたレーナさんが舞台上に立つと、何かきらきらと輝く暖かい光を感じました。澄んだ歌声は、本当に美しく心に響くものでした。所員は身体を揺すったり、にこにこ天井を眺めたり、指でリズムをとったりそれぞれを受けとめ方で感じ取つていたようです。又、舞台に出て来たレーナさんもしっかりと見て、目で確認していた姿は印象的でした。

映画館の対応は親切で、非常用のドアから車椅子で出入りができた。

小さな館内で、通路も狭く、段差があり、車椅子を置くスペースもない。他の観客と接近し過ぎていたために、ゆつくりと鑑賞できなかった。事前に良く調べていなかったの、残念でした。

所員達は、聴く方は好きなので、音楽会や音で楽しむことが出来る機会には、積極的に参加して、楽しみを多く経験させたいと思ひました。

指導員 岸 照子

途中、大きな声が出てしまう所員達に、不快な思いを抱かれた方達がたくさんいらつしやつたと思ひます。本当に申し訳なかつたと思ひます。一方、トークの時には声が出ていても、歌声が流れると声も出さずに、身体でリズムをとる所員の様子を見て、若いボランティアの方達が「歌の時は喜んでいましたね」と嬉しそうに話してくれました。このように会場の中には、障害を持つ所員達が共にコンサートを楽しむことへの理解を示して下さった方達も、たくさんいらつしやつたようです。ありがとうございました。

外出は疲れますが、刺激的でなかなか楽しいものです。これからも「理解」と、年々豊かになっていく福祉サービスの充実を信じて、地域社会での経験を重ねていきたいと思ひます。

「ゴスペルソングって何？」帰りのロビーでレーナさんの歌のことが話題になったので調べてみました。

「アメリカの黒人達が、古くから歌ってきた福音書(英語でgospel)に題材をとった宗教歌。黒人霊歌とは異なり、新約聖書のみを扱うことと、シヨリの要素を有することがその特徴である。」

ジャズやブルースなどの影響も受け、教会内部のみにとどまらず大衆的な存在になっていったようです。

指導員 鈴木成子

十二月行事予定

- 一日・特総研
- 五日・職員研修(施設見学)
- 七日・ボーリング大会
- 九日・障害者の日キャンペーン
- ハイランドバザー
- 十二日・スポーツ教室
- 十四日・作業所連絡会
- 二十日・クリスマス会
- 二十四日・長沢フリーマーケット
- 二十五日・一月五日 冬休み

◎ ありがとうございます

◇ 介助ボランティア

- ・ 沢田文子様
- ・ 今江恭子様
- ・ 福田香代子様
- ・ 村田光恵様

(音楽教室)

- ・ 山本利子様
- ・ 大野静枝様
- ・ 新井光枝様
- ・ 大沢央子様

◇ 作業ボランティア

- ・ 沢田文子様
- ・ 照葉会様
- ・ 山崎和子様
- ・ 松本登美子様
- ・ 熊本美枝子様
- ・ 三浦寿美恵様
- ・ 杉原静子様
- ・ 最上堯子様
- ・ 石田妙子様
- ・ 細野清美様
- ・ 垂見和子様
- ・ 堀田園子様
- ・ 山口美津枝様
- ・ 今江恭子様
- ・ 土川八重様
- ・ 安田靖子様
- ・ 一柳 様
- ・ 堀江 様
- ・ 境母親クラブ有志様

◇ 寄付

- ・ 池尻澄夫様
- ・ 尾亦千代子様
- ・ 尾亦 実様
- ・ 三浦藤沢信用金庫様
- ・ 横須賀中央教会様
- ・ 追浜サークル協議会様